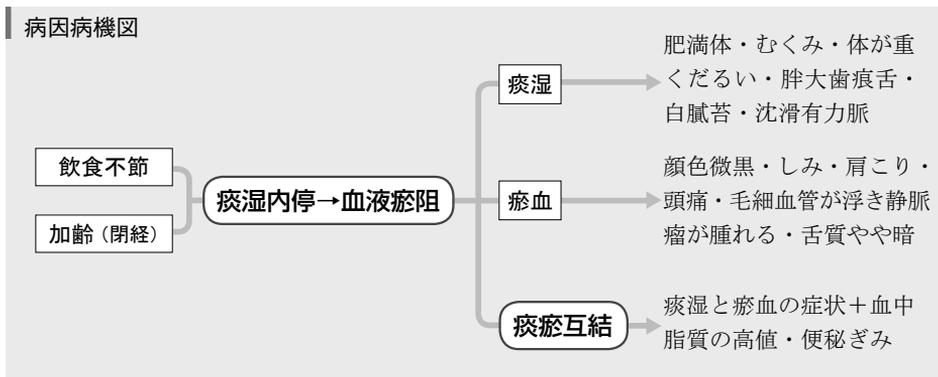


## 第1章 全身症状

汚い水分・脂肪)が生じ、体に蓄積している。

- 体が重くてだるい——痰湿停留のため、陽気の上昇が妨害されて、体が重くてだるくなる。
- 顔色がやや黒い・しみが深い。肩こり・ひどくなるとズキズキする頭痛が起こる。太腿に血管が浮き、足の静脈瘤が腫れる——血液瘀阻を示す。痰湿が血中に停留することで、血液をドロドロにさせて、血流を悪くさせてしまっている。
- 便秘がみ——痰瘀が混じり合って、脾の運化機能や腸の正しい蠕動を妨げていることと関係する。
- 舌質やや暗は、血液瘀阻を示す。舌体胖大・歯痕・舌苔白膩は、痰湿内停を示す。合わせて痰瘀互結を提示する。
- 脈が沈滑で、重按有力——痰湿内停の実証を示す。



### 弁証のポイント

- 飲食不節および閉経後の体重増加は、高脂血症の発症と関係する
- 肥満・体が重くだるい・胖大歯痕舌・白膩苔・沈滑有力脈は痰湿を提示し、顔色やや黒・しみが深い・肩こり・頭痛、舌やや暗などは血液瘀阻を提示するので、この血中脂質の高値は痰瘀互結と判断する

## アドバイス

### 弁証における鑑別点

#### 瘀血を見逃さない

顔色がやや黒い・舌質がやや暗い・毛細血管が浮いている・下肢静脈瘤が腫れるなどは、血液瘀阻を示す症状である。また、慢性肩こり・ひどくなると頭痛がズキズキするのは、血流瘀阻による「不通則痛」と判断する。